

1111 みんなねっと **福井県かれん新聞**第101号 (奇数月 発行)

事務局 ホットサポートふくい内〒910-0026 福井市光陽2-3-36
福井県総合福祉相談所内 Ⅱ0776-24-5135

1) みんなねっと福井けんかれん 2023年 11月1日

* 障がいのをりこえるために



もくじ

- ・ 北信越大会新潟 ハートフル文化祭・・・(1)
- ・ 県家連精神保健福祉研修会報告・・・(2)
- ・ 報告、ホームページ・・・(3)
- ・ 2023 みんなねっと埼玉大会報告5・・・(4)

北信越大会新潟 11月27日(月) バス JR 武生駅 8:15 鯖江 IC8:30 アオッサ 9:00

福井北 IC9:20 金津 IC9:30 新潟 15:00

11月28日(火) 研修会 15:00 新潟発 金津 20:20

福井北 20:30 アオッサ:20:50 鯖江 21:20 武生 21:35

参加する人は、各家族会に申し込んでください。11月10日まで延長。

ハートフル文化祭

日時： 12月9日(土) 10:30~16:00

~10日(日) 10:00~16:00

会場： ショッピングセンターベル あじさいホール

実施内容：① 作品展

② ステージ発表・・・演奏、合唱、ダンスなど

③ 即売コーナー

2) みんなねっと 福井けんかれん新聞 2023年 11月1日

2023 福井県精神保健福祉家族会連合会 研修会はスローガン「家族まかせにしない社会に！」で、**10月21日(土)**、井県自治会館開催されました。参加者30名前後。**10時から講演会でテーマ「他者とコミュニケーションするとはどういうことか」**を

- ・ 講師:福井大学 白川晋太郎氏(哲学)が話されました。
- ・ **13時から、分科会で第一分科会、第二分科会とも、同テーマ:「高齢化80・50問題と家族会の活性化、地域での生活と家族支援について」**で、活発な話し合いが行われました。

以下、研修会のアンケート集約です。

- ・ 1. 性別・・・1) 男 5名 2) 女 3名
- ・ 2. 年齢 50代 2名 60代 0名 70代以上 5名
- ・ 3. 地区名・・・ (鯖江1、越前2、福井4、坂井2)
- ・ 4. 所属について 1) 家族会 7名
- ・ 5 白川氏の講演について
- ・ 1) とても良かった。4名 2) まあまあ良かった。3名 3) あまり良くなかった。1名

(感想)・話を柔軟に受け止めることも大切に思いました。

- ・ 哲学を、分かりやすく説明してくれた。
- ・ コミュニケーションの人との取り方について学んだ。
- ・ 統合失調症に、規則的な考え方を求めるのは、無理なので、いちいち、まともに取り合うことはできません。でも、言動の裏にある動機を掴みとくには、そこにたどりつくまでに、寛容が必要です。
- ・ 哲学の観点からコミュニケーションについて考えることができ、とても興味深くおもしろい講演でした。
- ・ 人と人とのコミュニケーションは、相互の信頼とか、努力とかが必要だと思った。
- ・ 6 分科会 (1, 2) 分科会
- ・ 1) とても良かった。5名 2) まあまあ良かった。3名 3) あまり良くなかった。0
- ・ (感想)・親なき後の本人の課題について広く議論ができて良かったと思います。(第2)
- ・ いろいろなケースの話が聞けて、細かいところまで、みんなの意見を出し合えて
- ・ よかった。(第1)
- ・ 今回は、参加者のメンバーが以前の人と変わって、又、違った人の悩みが聞けた。大変な悩みを抱えていらっしゃる、同情しました。>

3) みんなねっと 福井県か連新聞 2023年 11月1日

- ・ >どうか良い方向に行きますようにと祈るばかりです。福祉が少しでも良くなるように。隣人の人達の協力が得られますように。(第1)
- ・ その他 総会・講演会の運営について
- ・ 1) とても良かった。2名 2) まあまあ良かった。3名 3) あまり良くなかった。0 以上

報告

- ・ ハートフル文化祭実行委員会 9月7日(木) 13:30~ 県社協センター 竹内
- ・ 特別全国障害者スポーツ大会(燃ゆる感動かごしま大会)
福井県選手団 結団式 10月26日(木) 9時~ 県庁 小寺出席
- ・ 同上 10月30日(月) 13:30~ 同上 竹内、小寺

お知らせ

***県家連のホームページ PC やスマホから見られます。**

福井県精神保健福祉家族会連合会(けんかれん)



アドレス <https://fukui-kenkaren.com/>

- ・ スマホをお持ちの方が多いです。是非、ご活用ください。また、ホームページへのご意見などもお願いします。高齢化、コロナ下で、お会いできない分を、ホームページで補いたいと思っています。
- ・ 使い方の不明な方は、家族会の世話人、施設の職員など、サポートをしてもらってください。
- ・ 「つぶやき」など連載しています。皆さんの声も上記アドレスへ投稿してください。

4) みんなねっと 福井県か連新聞 2023年 11月1日

2023 みんなねっと埼玉大会 10月14日、15日

報告者：小寺清隆

大会テーマ： 家族まかせにしない社会に

1 基調講演 ケアラー支援を進める社会に一法制化・条例化・地域づくりー

講師：堀越栄子氏（日本ケアラー連盟代表理事）

- ・ケアラーに対する助けは何もない。

家族の一員が精神疾患になって、**家族がケアしてもそれに対する補償が何もない。**

イギリスなどは、補償している。国や地方自治体の責任であり、

対策を要求していかなければならない。

2 みんなねっと2022年度事業活動報告 岡田理事長

- ・みんなねっと誌の増大が**とても重要**。

- ・ホームページ、みんなねっとサロンと連携した会員は増加している。

3 特別講演 障害者権利条約と家族支援

講師：増田一世氏（やどかりの里理事長・日本障害者協議会常任理事）

- ・障害者権利条約50条に、家族支援に言及する内容は**ない**。しかし、日本では本来社会の責任で行うべきことを**家族が肩代わりしている状況**が長年続いている。国連の障害者権利委員会は、そのことを把握している。

4 行政報告 精神保健に関する行政動向 厚生労働省 精神・障害保健課 課長

- ・「高齢者に適用されてきた「**地域包括**ケアシステム」を障がい者**にも適用**する。いわゆる「**にも包括**」を**推進**する。

5 分科会

第1分科会 ケアの脱家族化を考える～親の立場から～

助けてくれる依存先を多く作ることが大切。

第2分科会 精神保健福祉手帳2級所持者まで福祉医療の対象に

全科、入院も無料にすることが必要。

第3分科会 自立の多様性を考える～就労だけが自立じゃない。

個性ある生活、好きなことのできる人生が大切だ。

第4分科会 これからの家族会＝工夫するさまざまな家族会から学ぶ～

- ・配偶者の家族会 ・きょうだいの家族会 ・親が精神疾患のこどもの家族会

- ・社労士、臨床心理士を毎回招く。テーマを見つけて話し合う。

感想 新しいテーマをかかげた大会で、私たち親も子供に無償のケアを続けていけない

と思った。大宮は160万人の大きな都市で、熱気があり、市長の挨拶もあった。

埼玉県ケアラー支援条例もあり市民団体や地域の取り組みもおこなわれている。以上